


「道の駅」の整備・検討に関する 今後の進め方

平成27年3月13日

- 
- ① 「道の駅」の現状
 - ② 国等の新たな動き
 - ③ 重点「道の駅」の選定
 - ④ 山形県内の重点「道の駅」
 - ⑤ 県の来年度の取組み
 - ⑥ 「道の駅」構想(ビジョン)の骨格
 - ⑦ 「道の駅」構想(ビジョン)策定の準備
 - ⑧ ご意見を頂戴したいこと

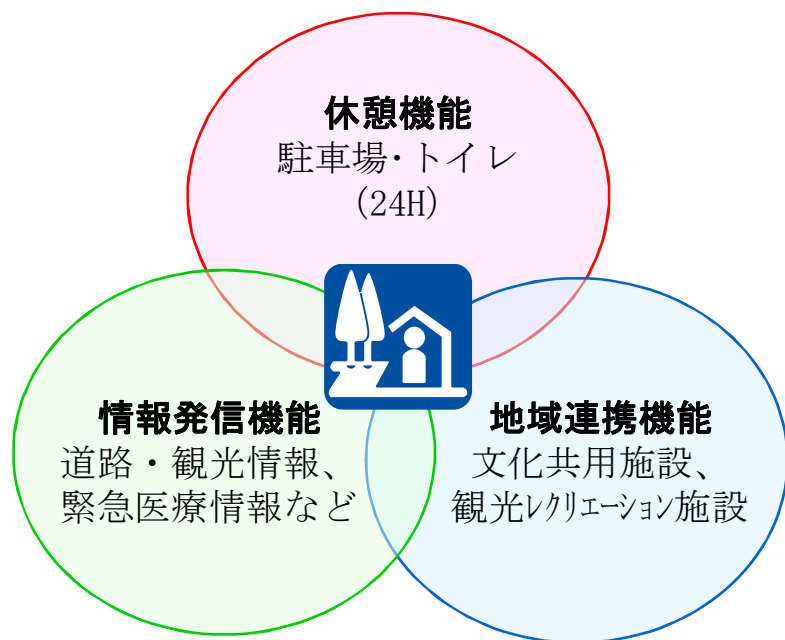
■「道の駅」の現状(1/2)

- ・「道の駅」は一般道の休憩施設として、休憩機能や情報発信機能、地域連携機能を有しており、多くのドライバーが利用している。
- ・現在、山形県内の「道の駅」は17駅あり、うち県管理道路沿線の駅は6駅である。

◆整備手法

- ・道路管理者と市町村長等で整備する「一体型」と市町村で全て整備を行う「単独型」の二種類

▼「道の駅」の機能



◆登録状況

- ・全国1030駅、東北144駅、山形17駅
- ※全国平均22駅、東北平均24駅に比べ、数が少ない

▼東北各県の登録状況(H26.4.4現在)

	登録駅数	道路管理者		整備手法	
		直轄管理	県管理	一体型	単独型
青森県	27	9	18	12 (11)	15 (7)
岩手県	30	10	20	18 (14)	12 (6)
秋田県	30	14	16	22 (13)	8 (3)
宮城県	12	5	7	5 (3)	7 (4)
山形県	17	11	6	6 (3)	11 (3)
福島県	28	7	21	16 (10)	12 (11)
計	144	56	86	78 (53)	64 (24)

() 県管理道路沿線の駅

出典：山形県資料

■「道の駅」の現状(2/2)

- ・山形県内の市町村においては、各地域で「道の駅」設置に向けた動きが進められており、特に無料の高速道路の休憩施設として、IC周辺における整備が期待されている。

◆県内の市町村の動き

置賜地域

○米沢市（道の駅基本構想検討委員会）

- ・高速道路の休憩施設を兼ねる「道の駅」を、米沢中央IC周辺に設置

庄内地域

○鶴岡市・遊佐町

- ・鶴岡市が南の玄関口、鼠ヶ関IC周辺に地域活性化施設を構想
- ・遊佐町が遊佐鳥海IC周辺にパーキングエリアタウンを構想

最上地域

○金山町・真室川町・新庄市

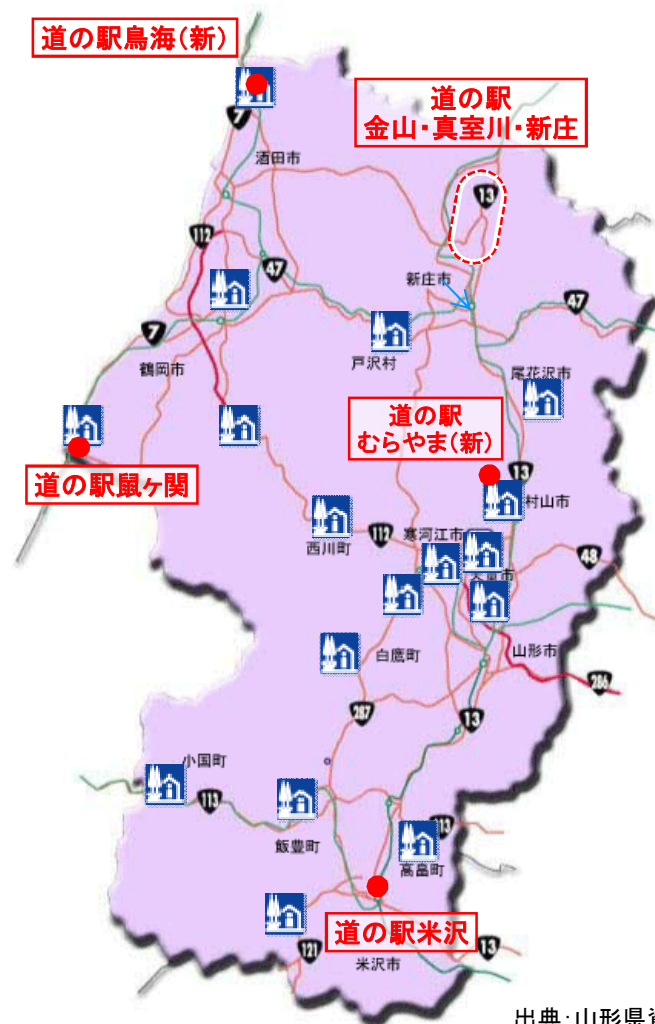
- ・秋田県境区間の高速道路の開通を機とした地域振興施設整備を構想

村山地域

○村山市

- ・東北中央道村山IC付近に休憩施設を構想

▼高速IC周辺の「道の駅」構想



出典：山形県資料

■ 国等の新たな動き(1/3)

- ・国土交通省は、平成26年6月に**高速道路（無料区間）の休憩施設**として「道の駅」の設置を認める方針を示している。
- ・山形県内には多くの**高速道路（無料区間）**があり、今後も整備が予定されていることから、このような役割を持った「道の駅」の設置が期待される。

無料の高速道路でも、有料の高速道路並みの休憩サービスを提供

- 無料の高速道路は、今後整備が急速に進展。
- 一方、休憩施設はほとんどなく、休憩サービスの提供が課題。
- 今後は、新たな方針のもと、国が計画を立て、3,000kmを超える無料の高速道路に、休憩施設を配備。

【無料の高速道路の延長】

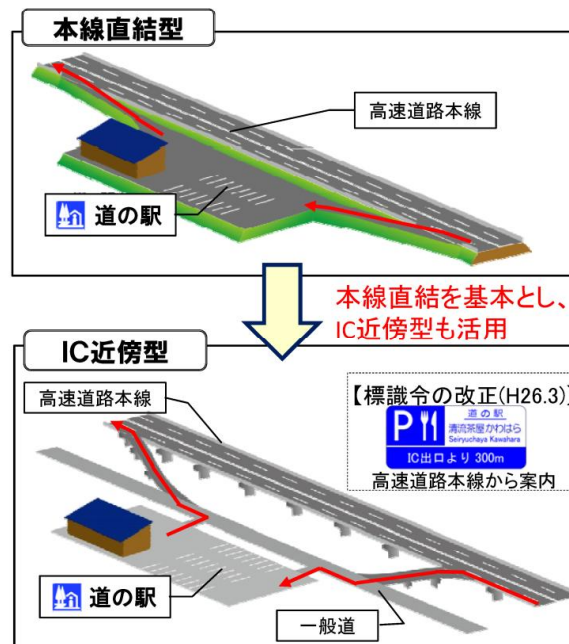
現在：1,654km → 今後：3,220km

※開通済み延長(H26.4.1時点)

※事業中中間整備後

【無料の高速道路における休憩施設の方針(案)】

- ①今後、3,000kmを超える無料の高速道路において、**計画的に休憩施設を配備**する。
- ②駐車場、トイレを最低限の設備とし、地域が主体となって計画する**道の駅の整備を認める**。
- ③**本線への直結を基本**とするが、無料で乗降りできる特性を活かし、**IC近傍型も活用**する。



出典：国土交通省
第12回国土幹線道路部会資料
(H26.6.25)

■ 国等の新たな動き (2/3)

- 国土交通省では、「道の駅」を経済の好循環を地方に行き渡らせる成長戦略の強力なツールと位置づけ、関係機関と連携して特に優れた取組を選定し、重点的に応援する取組を実施していくこととしており、平成27年1月に**重点「道の駅」**の選定結果を公表した。

◆ 重点「道の駅」制度の概要

- 全国各地で「道の駅」を地域活性化の拠点とする取組が進展している。
- この動きを応援するため、国土交通省では、重点「道の駅」制度を創設し、優れた「道の駅」を関係機関と連携して重点支援する取組を実施する。

◆ 重点「道の駅」に想定される機能

地域外から活力を呼ぶ ゲートウェイ型

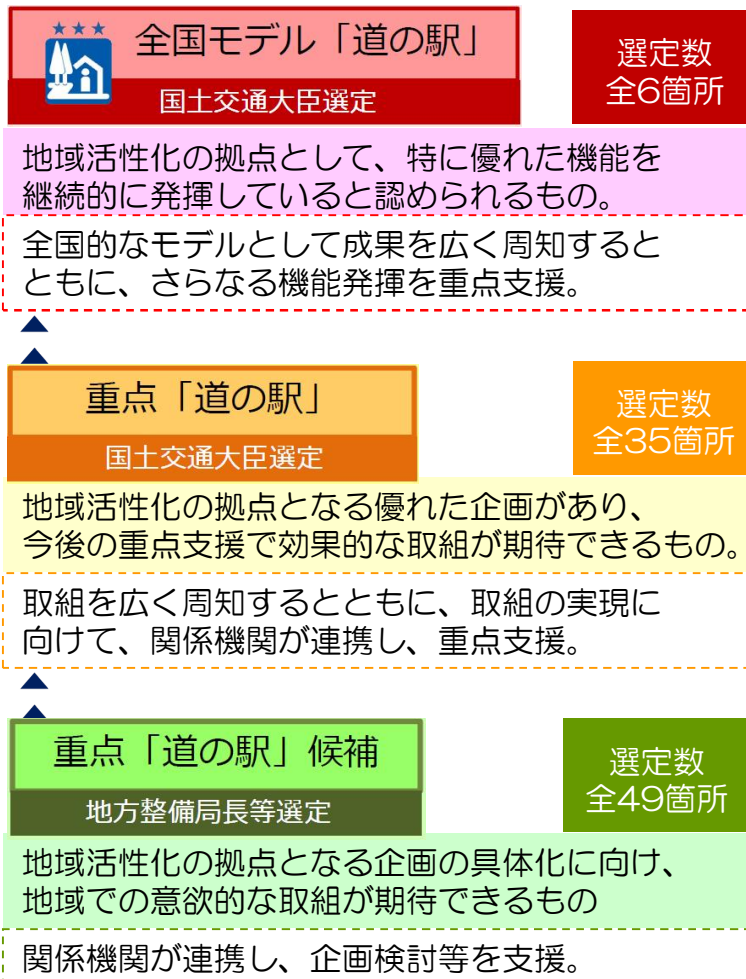
- 地域の観光総合窓口機能**
地域全体の観光案内、宿泊予約窓口 等
- インバウンド観光の促進**
外国人案内所、免税店、無料公衆無線LAN、海外対応ATM 等
- 地方移住等の促進**
地方移住のワンストップ窓口、ふるさと納税の情報提供 等

地域の元気を創る 地域センター型

- 地域の産業振興**
地方特産品のブランド化、6次産業化 等
- 地域福祉の向上**
診療所、役場機能、高齢者住宅 等
- 高度な防災機能**
広域支援の後方支援拠点、防災教育 等

出典：国土交通省資料

◆ 選定結果



■ 国等の新たな動き (3/3)

将来の地域活性化の担い手となる人材育成・確保、「道の駅」の地域活性化拠点としての進化を目指し、「道の駅」と大学との交流・連携が進められており、若者の就労体験や地域との交流の場として「道の駅」が提供されるとともに、若者ならではの視点を活かした企画立案や実行力、新たな発見が期待されている。

- 「道の駅」における大学との連携、受入体制を整備し、若者の就労体験や交流の場として活用。
- 地域の魅力の集まる「道の駅」と、観光学等を学ぶ地域外の若者が交流することで、新たな価値の創造を図る。
- 道の駅と大学のニーズに応じ、「連携企画型」と「就労体験型」の2種類の形で実施

実施イメージ



これまでの実施例

<連携企画型>

京都府亀岡市、南丹市、京丹波町の道の駅
 ・京都精華大学の大学生が、道の駅で販売するスイーツパッケージをデザイン



包装デザイン打合せ

「かなん」(大阪府河南町)
 ・道の駅と大阪府立大学の大学生のコラボによりオリジナル弁当を開発



道の駅弁当「かなん冬の恵み」

<就労体験型>

「霧の森」(愛媛県四国中央市)

- ・地元イベントの企画立案、実施補助のほか、道の駅内で製造されている地元名産品の製造・販売の補助を実施。
- ・H25年度は10名受け入れ、うち7名は関西圏の大学から参加

- ・H15からこれまで約110名が実施
- ・そのうち2名が「道の駅」へ就職



大学生が企画したイベント



地元名産品「霧の森大福」

出典：全国「道の駅」連絡会 記者発表資料 (H27.3.3)

山形県内の重点「道の駅」

- 山形県内においては平成29年度に新規設置が予定されている「道の駅（仮称）よねざわ」が重点「道の駅」に選定された。
- 山形県広域観光のゲートウェイとなる観光総合窓口設置を主な特長としてPRしている。

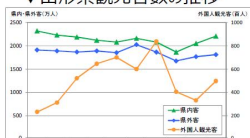
道の駅「(仮称)よねざわ」

山形県 米沢市

- 国際交流協会等の関係機関と連携を図り、観光総合窓口を開設。県全域周遊観光のゲートウェイとして国内外に広く情報発信。
- 地理的優位性を活かし東京・福島方面からの観光客をターゲットに高速道路・高速バスと連携した交通結節点(P&R)を構築。
- 県全域のインバウンド対応を始めとした多様な特産品や体験型観光の情報を含む複数の観光ルートを提供する拠点。

<地方創生拠点としての機能> ゲートウェイ型

▼山形県観光客数の推移



外国人観光客は震災で半減
道の駅を拠点に震災前水準に戻りつつある国内客に加えて外国客を増やし、観光客全体の増加を目指す

出典：県内客、県外客・・・山形県観光客数調査
外国人観光客・・・外国人旅行者山形県受入実績調査

インバウンド対応



外国人観光客にも対応した観光総合窓口を道の駅に設置(さくらんぼ農園での風景)

<提案の先進性・ポイント>

- 山形県全域の周遊観光を支援するため、県内全域の情報発信だけではなく、宿泊施設や交通機関の予約が可能な観光総合窓口の設置
- 高速バス、観光周遊バス、路線バスの停留所やカーシェアスペースを設置し、地域内と地域外の総合的な交通結節点として機能

観光総合窓口 山形県の南の玄関口における観光拠点

インバウンド観光 新たな需要創出

産業振興 体験型観光と地域特産品に発信



上杉まつり



米沢市最大イベントの上杉まつりをはじめ、県内各地のイベント情報を道の駅で発信

米沢牛



国内屈指の米沢牛をはじめ「山形ブランド」を道の駅で堪能

交通結節点イメージ



駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
よねざわ(仮称)	山形県	米沢市	(主)米沢高畠線	新設	平成29年度(予定)	一体型



※イメージ図のため、今後変更あり

<実施内容>

- 「高速バスからレンタカー」「自家用車から観光周遊バス」に乗り継ぐ、パーク&ライド施設を整備
- 外国人観光客にも対応した山形県全域をカバーする観光総合窓口を設置
- 特産品の展示施設・地域イベント体験施設や農産物加工施設の設置

出典：国土交通省資料

■ 県の来年度の取組み

- ・山形県においては重点「道の駅」に選定された「道の駅（仮称）よねざわ」の整備に向けた準備、新たな「道の駅」の指針や既存「道の駅」活性化のための構想策定を予定。

◆ 「道の駅（仮称）よねざわ」の整備に向けた準備

① 道の駅の概要

- ・平成29年度の東北中央道（福島JCT～米沢北IC）の開通にあわせ、（仮称）米沢中央IC付近に無料高速のSA・PAの代替施設として整備。
- ・H27.1に国が重点「道の駅」に指定しており、地域創生拠点として「ゲートウェイ型」道の駅整備を進める。

② 来年度の実施内容

- (1) 駐車場・総合案内所（情報提供装置）・トイレに係る調査設計、埋蔵文化財調査を実施
- (2) 総合案内所における情報提供方法や提供内容等に関する具体的な検討を実施

▼「道の駅（仮称）よねざわ」の位置図



出典：山形県資料

◆ 「道の駅」の構想策定

① 構想の概要

- ・道の駅に求められるサービス、新たな道の駅の整備方針、既存の道の駅の共存と連携のあり方等を取りまとめる。

② 来年度の実施内容

- (1) 観光交通状況等の調査・分析
- (2) 「道の駅」の構想（ビジョン）の策定

■「道の駅」構想（ビジョン）の骨格

- ・「道の駅」構想（ビジョン）は、4つの骨格を軸にした策定を予定している。

◆「道の駅」構想（ビジョン）の骨格

①「道の駅」に求められるサービス

- ・24時間利用可能な駐車場、トイレ【休憩機能】
 - ・道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報等の提供【情報発信機能】
 - ・産直施設、文化教養施設、観光レクリエーション施設【地域連携機能】
- 等

②新たな「道の駅」の整備方針

- ・「道の駅」機能の多様化（観光、防災、福祉等）
 - ・「道の駅」を核とした新たな地域振興施策の策定
 - ・直轄高速（無料高速）の休憩施設を兼ねた「道の駅」の計画的整備推進
- 等

③既存の「道の駅」との共存、連携のあり方

- ・「道の駅」相互、設置自治体の連携による統一イベント等の実施
 - ・無線LANの整備を行うとともに広域的な地域情報、観光情報を発信
 - ・観光バス・タクシー等と連携した観光ツアー、イベント等の企画立案
- 等

④国・県・市町村等の役割

■「道の駅」構想（ビジョン）策定の準備

- ・「道の駅」構想（ビジョン）策定にあたり、以下の4つの調査・分析等を行う。

◆ビジョン策定にあたっての実施内容

(1) 県内の観光交通状況等調査

(2) 県内での既存道の駅の駐車台数、利用者数、売り上げ、取扱い品目などの比較関連分析

(3) 県外の先進的な道の駅の事例調査

(4) アドバイザー等を交えた駅長会議の開催（サービス、商品等の企画）

■ ご意見を頂戴したいこと

「道の駅」を普段利用して感じていること、こういう施設があるとよい（あって良かった）、こういうところが物足りなかった、等、率直なご意見を頂戴できればと考えております。

①どんな場所にあるのが望ましいか（便利だと感じたか）

- ・ 交通量が多い道路に面した場所
- ・ 周辺に他の観光施設がある場所（ない場所）
- ・ 「道の駅」が近くにない場所 等

（想定される例）
交通量が多い道路に
面していれば
休憩する人も多いのでは…



②どのような「道の駅」を設置すればよいか

- ・ 各施設が適切にゆったりと配置されている
- ・ 駐車場が広く停めやすい
- ・ 駐車場から施設への距離が近い
- ・ トイレが広く使いやすい 等



（想定される例）
トイレが広いと
休憩で使いやすいのでは…

③施設の内容はどのようなものがよいか

- ・ 清潔でバリアフリーの機能を持ったトイレ
- ・ 道路や地域の情報が分かりやすく提供
- ・ 休憩施設が広く、テーブルや椅子が多い
- ・ レストランで地域特有のメニューがある
- ・ 直売所・売店で地元産品を多く販売している 等

（想定される例）
地元産品が
充実していれば
買物客が
増えるのでは…



④魅力的な「道の駅」、利用しやすい「道の駅」とはどのようなものか